

(6) ボクシング競技

1 期 日 2022年8月19日(金)～21日(日)

- 8月18日(木) 13:30～ スポーツエントリーズチェック(監督・コーチ)
[日野市市民の森ふれあいホール]
14:30～ 監督会議・組合せ抽選 [日野市市民の森ふれあいホール]
15:00～ インテグリティ研修 [日野市市民の森ふれあいホール]
- 8月19日(金) 7:00～ 健診・計量[ホテルエミシア東京立川] (当日試合の有る選手のみ)
11:00～ 競技・各階級1回戦[日野市市民の森ふれあいホール]
(少年男子・成年男子・成年女子の順)
- 8月20日(土) 7:00～ 健診・計量[ホテルエミシア東京立川] (当日試合の有る選手のみ)
11:00～ 競技・各階級準決勝[日野市市民の森ふれあいホール]
(少年男子・成年男子・成年女子の順)
- 8月21日(日) 7:00～ 健診・計量[ホテルエミシア東京立川]
11:00～ 競技・各階級決勝[日野市市民の森ふれあいホール]
(少年男子・成年男子・成年女子の順)

*試合会場への入場・アップ開始・試合開始については【セッション制】を採用する。

2 会 場 日野市市民の森ふれあいホール

〒191-0011 東京都日野市日野本町六丁目1番地の3 TEL:042-584-2555
中央自動車道国立・府中 IC から15分
JR中央線日野駅徒歩約15分、多摩モノレール甲州街道駅から徒歩約10分

3 種別及び参加人員

種別	監督	選手	参加都県	小計	合計
成年男子	1	5	7	42	105
少年男子	2	5	7	49	
成年女子	1	1	7	14	

(注) 少年男子監督2名のうち1名はセカンド(一般社団法人日本ボクシング連盟役員登録済みであること)

4 競技上の規定及び方法

- 競技規定は、一般社団法人日本ボクシング連盟(以下日本連盟)競技規則による。
- 代表チームの編成は、競技規則P4 ③男子シニア・ジュニア、④女子シニア・ジュニアに規定された次の各階級とする。
 - 成年男子 ライトフライ、フライ、バンタム、ライト、ライトウェルター、ウェルター、ミドル、ライトヘビーの8階級中の5選手。
 - 少年男子 ピン、ライトフライ、フライ、バンタム、ライト、ライトウェルター、ウェルター、ミドルの8階級中の5選手。
 - 成年女子 フライ級のみ
- 競技はトーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。(成年女子は除く)
- 競技時間は、下表のとおりとする。

種別	第1ラウンド	休憩	第2ラウンド	休憩	第3ラウンド
成年男子	3分	1分	3分	1分	3分

少年男子	2分	1分	2分	1分	2分
成年女子	3分	1分	3分	1分	3分

- (5) 代表チームの階級の選定は、全て異なった階級とし、規定された8階級のうち任意の5階級に出場する。
- (6) 団体出場チーム
成年男子・少年男子とも次の得点方法により、各都県の合計得点の多い4チームが、それぞれ団体出場権を得る。
- 競技得点法
- ア 各階級の1位に5点、2位に3点、3位に1点を与える。
- イ その他勝ち点1点を与えるが、抽選勝ちには与えない。
- ウ チームの得点が同点の場合は、1位、2位、3位、参加者数の多いチームを上位とする。
それでも同点の場合は抽選による。
- エ 勝ち点を得た選手が競技出場を辞退したときには、それまで得た得点の全てを失う。但し、監督が選手の健康診断書又は理由書を競技委員長宛に提出し、許可を得たときはこの限りではない。
- (7) 成年女子については3枠が充てられ1位、2位、3位が通過。3位に関しては準決勝で負けた選手が、3位決定戦を行う。

5 参加資格、所属都県及び選手の年齢基準

第77回国民体育大会関東ブロック大会総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 選手は、日本連盟医事ハンドブック CHAPTER IVを遵守する。
- (2) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ボクシングコーチ1、公認ボクシングコーチ3、公認ボクシングコーチ4のいずれかの資格を有すること。
- (3) セカンド
- ア セカンド資格の有取得者および日本連盟に登録した役員・選手であるアシスタントセカンドとする。
- イ セカンドは3名以内で構成すること。セカンド構成メンバーには日本連盟公認資格B級以上の有資格者が1名以上含まれること。
セカンドチーム内に「チーフセカンド」を指定し、そのチーフセカンドは必ず「インテグリティ研修」を受講すること。
- ウ 事前に「セカンド届」を提出した者であること。

6 組合せ

監督会議で抽選により決定。

7 参加・宿泊申込み

- (1) 第77回国民体育大会関東ブロック大会総則、宿泊要項を熟読の上、参加者負担金を納入し、参加申込み及び宿泊申込等は所定のWebページにアクセスし、必要事項を入力の上、申込期限までに手続きを完了すること。なお、完了しない場合は、原則として大会への参加を認めない。
- (2) 宿泊及び弁当業務取扱機関は、「(株) JTB スポーツマーケティング事業部」とする。
- (3) 参加申込締切後の選手の変更は、疾病、傷害等の特別な場合のみ認めるものとし、都道府県大会若しくは選考会に出場した選手に限り認める。ただし、その場合、下記提出先に、それぞれ医師の診断書を添えて、文書で届けなければならない。また、参加申込み後の階級の変更は認めない。その取り扱いについては次の通りとする。
- ア 提出期限 2022年8月17日(水) 監督会議前日まで
- 注 下記イ(ア)、(イ)への申込みについては書留郵便・宅配便・レターパックプラス等の交付記録が残る郵送方法にて送付すること。

イ 提出先

- (ア) 〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 都庁第一本庁舎 14 階南側
第 77 回国民体育大会関東ブロック大会東京都実行委員会事務局
TEL 03-5320-4247 メール S1120717@section.metro.tokyo.jp
- (イ) 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-16-7 2 階
関東ボクシング連盟 理事長 中島 成雄
TEL 03-3863-4371

8 参加上の注意

- (1) スポーツエントリーズチェックにおいては、各都県の監督・コーチが参加し、選手手帳・健康申告書・女子健康申告書（成年女子種別のみ）・ユニフォーム（赤・青）を持参すること。
- (2) 個人で持参するもの
選手手帳、健康保険証、健康申告書、女子健康申告書（成年女子種別のみ）、競技用具（ユニホーム、ヘッドギア、シューズ、マウスピース、カッププロテクター（男子種別）、チェストガード（成年女子種別）、ローブローガード（成年女子種別）等。
- ア ヘッドギア（少年男子種別、成年女子種別）
- (ア) 日本連盟の検定品マークのついているもので劣化していないもの。
(イ) 清潔で状態の良いものであること。
(ウ) コーナー色のヘッドギア（赤色及び青色）を着用すること。
(エ) 前頭部及び側頭部には学校名などの記入（刺繍も含む）のないもの。
- イ ユニホーム
- (ア) コーナー色（赤色及び青色）と同色のユニフォームを着用すること。
(イ) ベルトライン（へそと臀部の頂点を結んだ線）は白色またはトランクス、ランニングとはっきりと異なる色で 6 cm から 10cm の幅でなければならない。
- ウ マウスピース
赤色及び赤系統の色が含まれるマウスピースの使用は禁止する。
- エ カッププロテクター（男子種別）及びローブローガード（成年女子種別）
すべての男子競技者はカッププロテクターを着用しなくてはならない。女子の競技者のローブローガードの着用は任意である。使用の際は標的領域（ターゲットエリア・ベルトラインより上）を覆ってはならない。
- オ チェストガード（成年女子種別）
女子の競技者のチェストガードの着用は任意である。
- (3) 毛髪・入れ墨・タトゥーについては、日本連盟医事ハンドブック CHAPTER X を遵守すること。
- ア 長髪の競技者において、女子はヘッドガードに髪が収まるようにスイミングキャップを使用してヘッドガードから髪が出ないようにしなければならない。成年男子の長髪選手についてはヘアゴムを使用して髪を束ねなければならない。ヘアピンなどのアクセサリは使用してはならない。ヘアネットまたはスイミングキャップは、必ず個人で持参すること。
- イ クリンチの際、ひげやつけまつげは対戦相手の眼に入り角膜擦過傷を引き起こす危険性があるため禁止である。口髭・あご髭はきれいに剃らなければならない。
- ウ 身体のどの部位についても、サイズの大小にかかわらず、入れ墨・タトゥーは認められない。シールも同様である。
- (4) 成年女子種別については、以下の項目を遵守すること。
- ア 競技の服装
上半身は短い袖の T シャツ（ノースリーブを含む）、下半身はトランクスとすること。トランクスの代わりに競技用スカートも着用することができる。トランクスの下にスパッツの着用は許されるが、トランクスの長さより短くなければならない。
- イ 計量
公式計量は水着か下着を着用して行うが必要であれば全裸で行うことができる。公式計量は 1 回のみで有る。競技会最初の計量では、階級の上限・下限とも体重を満たさなくてはならないが、2 回

目以後の計量では、体重はその階級に満たなくてもよい。

ウ 健康申告書

毎日の健診で、指定した形式の申告書を提出しなければならない。18歳以上の女子競技者は本人の署名及び捺印、18歳未満の女子競技者は本人及び両親あるいは法的後見人の中の一人から署名及び捺印を必要とする。

- (5) 競技中の疾病・負傷等の応急処置は主催者が行うが、以降の責任は負わない。
- (6) 選手手帳は大会日数分の記載欄があるもので、写真が貼付されているものであること。
なお、会場地での選手手帳の発行は一切行わない。
- (7) 監督・セカンドは、日本連盟に2022年度の役員・選手登録済みの者であること。
セカンドについては、日本連盟公認セカンド資格のいずれかを有していること。
(アシスタントセカンドを除く)
- (8) 新型コロナウイルス感染症対策については、別途定める「感染防止ガイドライン」による。